第6駆逐隊艦暦（暫定版）漫画化してない部分はまだ細かく調べてないので、色々間違いがあります。

記号　GF聯合艦隊　F艦隊　S戦隊　Sd水雷戦隊　dg駆逐隊

駆逐隊番号　横須賀所属は１～10、呉所属は11～20、佐世保所属は21～30、舞鶴所属は31～40
西暦１９ｘｘ年　ｘｘ－２５＝昭和

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年 | 月 | 暁 | 響 | 雷 | 電 | etc |
| 1930S5 | 2 | 2/17起工　佐世保海軍工廠 |  |  |  | 1930就役：綾波、朝霧、夕霧、天霧、伊159、162、1644/22ロンドン海軍軍縮条約 |
|  | 2/21起工　於舞鶴海軍工廠 |
| 3 |  | 3/7起工　浦賀船渠 | 3/7起工　藤永田造船所 |
| 1931S6 | 10 |  |  | 10/22進水 |  | 1931就役：狭霧、曙、朧、潮満州事変（'31.9/18～'32.2/18）1932就役：漣、高雄、愛宕、摩耶、鳥海　　　　　伊5、165、166、675/15五一五事件 |
| 1932S7 | 2 |  |  |  | 　2/15進水 |
| 5 | 5/7進水 |  |  |
| 6 |  | 5/16進水 |  |  |
| 8 |   | 8/15就役 |  |
| 11 |  | 11/15就役 |
| 11/15横須賀鎮守府へ編入　6dg新編（響は就役前） |
| 11/30就役　10dgに編入（狭霧、漣） |  |
| ※10dg　吹雪型の編制を４隻体制から３隻体制に変更して結成した隊で、漣の就役に合わせて狭霧を編入し、暁の就役を待った1939年11月解散、狭霧は呉に転出して20dgに加わり、漣は7dg、暁は6dgに合流 |
| 1933S8 | 3 |  |  | 3/3三陸地震、被災地へ救援物資輸送、支援活動に従事 | 1933就役：龍驤、初春、子日3/27日本、国際連盟を脱退12/連合艦隊常置決定 |
| 3/31就役 |  |
| 8 | 8/25特別大演習観艦式（第16回観艦式）参加　横浜沖　御召艦：比叡　供奉艦：高尾4姉妹　　第6列4,5,6,8番　電、響、雷　暁 |
| 11 | 11/15　第二水雷戦隊に編入　那珂､6､10､11､12dg　※11,12dgは前年度から残留。7,8dgと交代で6,10dg編入 |
| 1934S9 | 6 | 連合艦隊第４回基本演習に参加6/29済州島南方にて演習中に電が深雪と衝突、深雪喪失　電は佐世保で応急修理後、呉工廠で復旧工事。9/20出渠 | 1934就役：大鯨、初霜、若葉、伊1683/12友鶴事件 |
| ※この頃の呉工廠　最上34.3/14進水～35.7/28竣工　龍驤34.5/26～8/20第1次性能改善工事　榛名33.8～34.9第2次近代化改装扶桑34.9/16～35.2第２次近代化改装　蒼龍34.11/20起工　（呂303-34.10/7進水　伊7-34.9/12起工 |
| 第二艦隊1934年11月15日　航空戦隊新設時の編制　第4戦隊：鳥海、高雄、愛宕、摩耶　　第5戦隊：古鷹、衣笠、青葉第2水雷戦隊：神通 第6駆逐隊：雷、電、響／第10駆逐隊：狭霧、漣、暁／第19駆逐隊：浦波、敷波、綾波／第20駆逐隊：東雲・吹雪・磯波第2潜水戦隊：由良、長鯨 第18潜水隊　第29潜水隊　第30潜水隊　　附属：神威、鳴戸　（11月15日新設　第2航空戦隊：赤城 第2駆逐隊：峯風、沖風 |
| 1935S10 | 2 |  |  |  | 2/28有明湾での訓練中、疾風と触衝 | 1935就役：最上、三隈、有明、夕暮伊6,169,70,1717/29～１０年度海軍大演習↓9/26第四艦隊事件 (6dgは第二艦隊で参加)12/海軍航空本部長に山本五十六中将 |
| 8 | 8/1 訓練中、伊６号潜の潜望鏡と触衝 |  |  |  |
| 11 | 11/15 10dgは8dgと交代、予備艦となり性能改善工事を実施翌年2/5工事完了 | 11/6～18　11月九州地方行幸　御召艦比叡、供奉艦響(旗)雷電　11/15予備艦 |
| 11/29(～4/9?)性能改善工事舞鶴 | 11/29(～4/11?)性能改善工事横須賀 | 11/26?(～3/26?)性能改善工事横浜 |
| ※性能改善工事　友鶴事件、第四艦隊事件により、特型の復元性、船体強度の問題が浮上し、特III型は徹底的な改善工事が行われた。(各艦およそ３ヶ月)・艦橋構造物の縮小小型化 ・方位盤換装 ・大掃海具、艦上の伝声管撤去 ・艦橋上の測距儀換装 ・バラスト搭載 ・上甲板補強 ・デッキガータ増設 ・B型砲架をB型砲架改へ換装公試排水量は1,980ｔ→2,400ｔ、最大速力は約2ノット低下、速力低下以外の問題点は生じなかったといわれている。 |
| 1936S11 | xx | 横須賀警備戦隊に編入※陸奥,比叡,高雄?,摩耶,鳥海,木曽,五十鈴,神通,3,7,10dg |  |  | 1936就役：白露、時雨1/15ロンドン軍縮会議脱退2/26二二六事件4/18国号を大日本帝国に11/25日独防共協定12/31ワシントン海軍軍縮条約失効 |
| 2 | 2/26横須賀 | 舞鶴(入渠中？) | 横須賀(入渠中？) | 横浜(入渠中？) |
| 3 |  |  |  | 3/24公試で34.5knt/2450tを記録(舞鶴？ |
|  |  | 出渠後、順次寺島水道→福岡湾→青島、演習参加 |
| 10 | 10/29特別大演習観艦式参加 |
| 12 |  | 12/1横須賀警備戦隊第2予備駆逐艦 |

|  |
| --- |
| ※1937～1938の支那方面艦隊　　9Ｓ→12Ｓの改名タイミング等　一部不安Ｓ戦隊　ｓｄ水雷戦隊　ＡＦ航空戦隊　Ｓｓ潜水戦隊　dg駆逐隊　wg掃海隊　　横一特＝横須賀第一特別陸戦隊　呉一特＝呉第一特別陸戦隊 |
| 1937.7/28  | 第三艦隊 | １０Ｓ(出雲(旗艦))　９Ｓ(妙高、多摩)　１１Ｓ(､鳥羽､勢多､比良､保津､堅田､熱海､二見､栗､栂､蓮}　１２Ｓ(島､神威、28dg（朝凪、夕凪）)３ｓｄ(上､23dg（菊月､三日月､望月､夕月）､第1､第21水雷隊)　５ｓｄ(張､13dg(若竹､呉竹､早苗)､16dg(朝顔､芙蓉､刈萱)29dg(追風,疾風))上海特別陸戦隊 | 第二艦隊の一部（大部分は佐世保で待機）１０Ｓ(龍田、天竜)　８Ｓ(鬼怒、名取、由良)？１Ｓｄなど |
| 9/4 | 旗艦：出雲　９Ｓ　１０Ｓ　１１Ｓ　１２Ｓ　３ｓｄ　４ｓｄ(6dg,10dg,11dg)　５ｓｄ　上海特別陸戦隊 |  |
| 10/20 | 旗艦：出雲隷下部隊：１１Ｓ　３ｓｄ　上海特別陸戦隊 | 第四艦隊 | 旗艦：足柄隷下部隊：９Ｓ　１４Ｓ(天竜、龍田)　４ｓｄ　５ｓｄ(長良、3dg(汐風,太刀風,帆風？)、16dg、23dg) | ※支那方面艦隊直卒：第１航空戦隊　第２航空戦隊　第３航空戦隊(神威、能登呂)第１連合航空隊　第２連合航空隊 |
| 12/1 | １０Ｓ(出雲(旗艦)、天竜、龍田？)隷下部隊：１１Ｓ ４ｓｄ(-11dg +第一水雷隊)上海特別陸戦隊　第１根拠地隊　第１連合航空隊　第２連合航空隊附属：３ＡＦ(神威、香久丸、神川丸)　2wg　3wg | 旗艦：足柄　直卒部隊：厳島　第15駆逐隊(萩、藤、薄、蔦)隷下部隊：９Ｓ　５ｓｄ３Ｓｓ　４ＡＦ(能登呂、衣笠丸) |  |
| 1938.2/1 | １０Ｓ(出雲(旗艦)、天竜、龍田？)隷下部隊：１１Ｓ ４ｓｄ附属：上海特別陸戦隊　第１根拠地隊　第２連合航空隊　横一特　呉一特 | 旗艦：足柄　直卒部隊：厳島(3/20除)隷下部隊：３Ｓｓ　４ＡＦ　付属：第１連合航空隊？　30dg　第2港務部 | 第五艦隊 | ９Ｓ(妙高、長良？)　５ｓｄ　３ＡＦ付属１３Ｓ | 付属：駒橋、勝力、室戸、朝日丸 |
| 12/15 | 旗艦：出雲　隷下部隊：１１Ｓ附属　上海特別陸戦隊　第２連合航空隊　第２砲艇隊　第１港務部　第４防備隊 | １２Ｓ(足柄、多摩、7dg(曙、朧、潮)、第11掃海隊)附属：第１連合特別陸戦隊 | ９Ｓ(名取、？？)　５ｓｄ(長良、16dg,23dg)附属：第３連合航空隊　第14航空隊　第16航空隊　神川丸　第２根拠地隊　第３根拠地隊 |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年 | 月 | 暁 | 響 | 雷 | 電 | Etc |
| 1937S12 | 7 | 7/28　第4水雷戦隊を新設、第2艦隊隷下に編入　北支部隊に部署　※第六駆逐隊は特定修理中 | 1937就役：村雨、夕立、五月雨、春雨、江風、海風、山風、涼風朝潮、大潮、満潮、荒潮鈴谷、熊野、蒼龍、伊7,172,737/7盧溝橋事件7/8日中戦争(支那事変)勃発7/17蒋介石と周恩来が会談、抗日戦に合意8/13第二次上海事変8/21中ソ不可侵条約11/4戦艦大和起工11/6伊、日独防共協定に参加11/18大本営令公布12/13南京占領※8/11～9/4 11dgは10Ｓの指揮下に青島から居留民引揚げ |
| 第二艦隊　第4戦隊：高雄､摩耶（旗艦？）　第5戦隊：那智､羽黒､足柄第2水雷戦隊：神通、第7駆逐隊（曙・朧・潮）第8駆逐隊（朝霧・夕霧・天霧）第19駆逐隊（浦波・敷波・綾波）第20駆逐隊（東雲・吹雪・磯波）第4水雷戦隊：木曽、第6、第10（暁、漣、狭霧）第11駆逐隊（吹雪、白雪、初雪）　第2潜水戦隊：阿武隈、第12潜水隊（伊168、169）第20潜水隊（伊71.72.73）第29潜水隊（伊61､62､64）第2航空戦隊：加賀、第22駆逐隊（皐月、水無月、文月、長月）　神威、鳴戸 |
| 8 | 8/1佐世保→8/3済州島、基地人員物件揚陸→8/4旅順（10dg） | 8/12横須賀→旅順（横二特陸輸送？） |
| 華北にて船団護衛 | 華北にて船団護衛8/16旅順寄港(響)8/16.0130重巡洋艦高雄から陸軍船団(第10師団)の護衛任務を継承、塘沽へ航行中､第14駆逐隊に護衛任務を継承 |
|  | （木曽、6dg、10dg）10dg 8/17旅順→8/18.1120上海、横須賀鎮守府第1特別陸戦隊輸送　・6dg 8/17旅順→8/18.1245上海、呉鎮守府第1特別陸戦隊？を輸送、揚陸時ゲリラと交戦？狭霧に重症1軽傷28/23北支部隊第2支隊 |
| 9 | 10dg 9/2旅順→9/3上海、佐世保鎮守府第3特別陸戦隊輸送　6dg 9/2.0830旅順→9/3上海、佐世保鎮守府第2特別陸戦隊輸送（呉淞第二次上陸隊) |
| 9/5 第4水雷戦隊は第3艦隊に編入、9/7南支部隊護衛部隊に部署 |
| 10S指揮下に中国南部で沿岸封鎖作戦 | 9/8佐世保寄港9/11基隆寄港後船団護衛9/14呉淞入港後船団護衛　10月上旬まで陸軍輸送船団護衛 |
| 10 |  |  |  | 10月初旬、木曽が知床と触衝。一時4sd旗艦に |
| 10/20 第4水雷戦隊は第4艦隊（新編）に編入、南支部隊第2監視部隊北方部隊に部署　第3、第4艦隊は支那方面艦隊を新編 |
| 11 | 11/2第4水雷戦隊はH護衛艦隊第1護衛隊に部署11/5杭州湾上陸作戦 第1護衛隊(主隊：木曽　左翼掩護隊：10dg　右翼掩護隊：12S(沖島),6dg,11dg　正面：12S(掃1,掃4) |
|  |  | 11/16第6駆逐隊司令伏見宮博義王（伏見宮博恭海軍元帥の息子 |  |
|  | 11/18馬鞍群島出港→旅順？ |
| 11/20第4水雷戦隊(-11dg,狭霧)は封鎖部隊北支封鎖部隊に部署　11/21～封鎖任務に従事　※11dg中支封鎖部隊 |
| 12 | 12/1支那方面艦隊第3艦隊隷下に第4水雷戦隊を編制(木曽、6dg、10dg、第1水雷隊)　第4水雷戦隊は中支部隊第2警戒部隊に編入、12/2旅順出航→上海　※12/7第1水雷隊を根拠地帯に編入 |
|  |  |  | 12/11上海→12/14佐世保、拿捕船「福星」「長徳」を護送12/15佐世保出航 |  |
|  | 12/16第4水雷戦隊はA護衛艦隊第2護衛隊に部署　緑華山泊地へ集合する輸送船団護衛　12/20あこが丸と触衝、損傷した第一眞盛丸を護衛、呉淞へ(雷→響)　12/22A作戦中止、第4水雷戦隊は中支部隊第2警戒部隊に復帰 |
| 1938S13 | 1 | 防寒施設設置？※上海が在庫切れで佐世保から取り寄せ1/2第4水雷戦隊はB作戦部隊護衛部隊に部署1/4上海→1/5裏長山列島寄港1/8船団護衛→1/10～11青島に陸戦隊(横一特、呉一特、上海特陸の一部)を揚陸（青島占領作戦）1/14残作業を第3潜水戦隊(球磨、第9潜水隊、第13潜水隊)に引き継ぎ、馬鞍群島泊地へ | 1938就役：山雲、夏雲、朝雲、峯雲千歳、千代田、利根伊174、175、81/16第1次近衛声明を発表、対中国の和平交渉打ち切りを通告「国民政府を相手にせず」3/13独、オーストリアを併合3/28日本占領下の南京に中華民国維新政府樹立4/1国家総動員法公布5/26毛沢東、延安の抗日戦争研究会で「持久戦論」の演説6/9勤労動員開始7/11張鼓峰事件7/16世界初の核実験、ニューメキシコで10/27日本軍、武漢三鎮を占領11/03第2次近衛声明 日本の戦争目的は「東亜新秩序」にあると発表 |
| 1/15第4水雷戦隊は中支部隊浦東作戦部隊に編入　10dg→呉淞　木曽6dg→杭州湾、柘林方面　1/16～長江で警戒任務　※10S龍田、3sd汐風、同配備に就く？1/23第4水雷戦隊は中支部隊第2警戒部隊に部署1/23～華中､華南沿岸の封鎖監視等に従事 |
| 1/28呉淞→1/29佐世保　入渠整備　2/5出渠　2/7呉淞※漣、1/28呉淞→1/29呉2/3～2/9入渠魚雷発射管換装2/12緑華山 |  | 1/30?海防艦(潜水母艦/測量艦)駒橋から七面鳥を贈られる→間宮に預けて伏見宮邸へ送る※人買い船拿捕このころ？ |  |
| 2 | 2/17、2/22砲撃、トーチカ破壊※狭霧2/8呉淞→2/9佐世保2/10～2/18入渠魚雷発射管換装2/20緑華山 |  | 2/27坎門頭の敵陣地へ砲撃 | 2/26坎門港付近の敵陣地へ砲撃 |
| 3 | 3/2緑華山→花鳥山島→3/3南京　加賀派遣隊輸送3/10第二次輸送船団護送 | 3/8陸上部隊へ砲撃 | 3/3陸上部隊へ銃撃 | 3/4 |
|  | 3/14第4水雷戦隊は北方警戒隊に　第六駆逐、坎門頭付近にて隊陸上部隊へ銃撃 |
|  |  |  | 博義王の喘息悪化、3/21帰還命令電、響は4ｓｄ司令の直接指揮下に入る | 3/21.1720木曽、鎮海港偵察の帰途、陸上砲台と交戦、被弾1800電急行、砲撃制圧（宏遠、長跳嘴、白鶏山方面） |
|  |  | 3/25笠山砲台を攻撃 | 3/22上海→3/24.1100東京1400横須賀 | 3/22木曽、電　先日の砲台を再度砲撃 |
|  |  |  | 3/28～特定修理のため入渠 |  |
| 4 | 4/12内地帰還命令　4/18横須賀入港後、特定修理のため入渠 |
|  | 4/19 第4水雷戦隊解隊 |
|  | 予備艦 | 4/19横須賀鎮守府部隊に編入され第3予備駆逐艦 |
| 11 |  | 11/15第1予備駆逐艦 |
| 12 |  | 12/15 警備兼練習駆逐艦 |
| 1939S14 | 6 |  |  | 6/22敷設艦沖島、横須賀防備隊､雷､電､第5衣笠丸､横浜航空隊第1飛行隊(飛行艇4～5)を率いて横須賀出港。マーシャル諸島調査(クサイ､ミレ､アイリング､マロエラップ各島を測量)8/24横須賀入港 | 1939就役：祥鳳(剣崎)、瑞穂、海鷹(あるぜんちな丸)、飛龍筑摩、霰、霞、陽炎、不知火4/1海軍十二試艦上戦闘機試作第1号機（ゼロ戦）の試験飛行を実施（岐阜県各務原飛行場4/12米穀配給統制法公布5/11ノモンハン事件7/6零式艦上戦闘機（ゼロ戦）試作機、試験飛行8/23独ソ不可侵条約 |
| 8 |  | 8/1小松島出港後南洋方面で演習/26岸和田帰着 |
| 11 |  | 11/15特別役務駆逐艦 |
|  | 11/25 第10駆逐隊解散、暁は第6駆逐隊に編入　第2艦隊隷下に再編された第4水雷戦隊に編入　（那珂､第6､7駆逐隊　※予備艦 |
| 1940S15 | 11 | 11/15 第6駆逐隊は、第一艦隊第一水雷戦隊に編入（第2駆逐隊と交代 | 1940就役：雪風、黒潮、初風、親潮早潮、夏潮、天津風、磯風、時津風、浦風冲鷹(新田丸)、雲鷹(八幡丸)、伊15、16、209/1第二次世界大戦勃発10/11紀元二千六百年特別観艦式 |
|  | 第一艦隊　第1戦隊：長門、陸奥　第3戦隊：比叡、霧島？　第6戦隊：青葉、古鷹、加古　第4潜水戦隊：五十鈴、第7（伊1,2,3）8（伊4,5,6）潜水隊第一水雷戦隊：阿武隈、第6、7（曙、朧、潮、漣）21（初春、子日、初霜、若葉）24（海風、江風、山風、涼風）駆逐隊第三水雷戦隊：川内、第11（吹雪、白雪、初雪）12（白雲、東雲、叢雲）19（綾波、磯波、浦波、敷波）20（夕霧、狭霧、天霧、朝霧）駆逐隊 |
|  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| 歴代艦長 |
| 暁 | 艤装員長1.高橋一松 少佐：1932年5月16日 -艦長1.高橋一松 　少佐：1932年8月20日 -2.橘正雄　　 少佐：1934年11月15日 - 3.小田為清　 中佐：1935年11月15日 -4.成田忠良 　中佐：1936年2月5日 -5.佐藤康夫 　中佐：1936年12月1日 -6.篠田勝清 　中佐：1937年7月6日 -7.荘司喜一郎 中佐：1937年10月8日 -8.小山猛夫 　中佐：1938年5月16日 -9.川島良雄 　少佐：1938年8月1日 -10.青木久治　少佐：1940年11月15日 -11.高須賀修　少佐：1942年4月13日 – 11月13日戦死 | 響 | 艤装員長1.江口松郎 少佐：1932年11月15日 -艦長1.江口松郎　 中佐：1933年1月30日 -2.江戸兵太郎 中佐：1934年8月1日 -3.阪匡身 　　中佐：1935年11月21日 -4.井上良雄　 少佐：1936年12月1日 -5.柴勝男　　 少佐：1937年7月13日 -6.溝畠定一　 少佐：1937年11月1日 -7.岡本次郎 　少佐：1938年12月1日 -8.岡三知夫 　少佐：1939年10月15日 -9.林利作 　　少佐：1940年10月15日 -10.石井励　　少佐：1941年9月25日 -11.工藤俊作　少佐：1942年8月13日 -12.森卓次　　少佐：1942年12月10日 -13.福島栄吉　中佐：1943年11月25日 -14.薗田肇　　少佐：1945年7月18日 - | 電 | 艤装員長1.平塚四郎 中佐：1932年3月1日 -艦長1.平塚四郎　中佐：1932年11月15日 -2.有賀幸作　少佐；1934年11月1日 -3.渋谷紫郎　中佐：1935年10月15日 -4.山田勇助　少佐：1936年12月1日 -5.宮坂義登　中佐：1937年12月1日 -6.古川文次　少佐：1938年11月1日 -7.勝見基　　少佐：1939年2月20日 -8.竹内一　　少佐：1941年9月15日 -9.寺内正道　少佐：1942年11月6日 -10.常盤貞蔵 少佐：1943年11月20日 - 1944年5月14日戦死 | 雷 | 艤装員長1.佐藤慶蔵 中佐：1932年5月14日 -艦長1.佐藤慶蔵 中佐：1932年8月15日 -2.手束五郎 少佐：1932年11月15日 -3.伊集院松治 少佐：1934年11月1日 -4.則満宰次 中佐：1935年11月21日 -5.竹内虎四郎 少佐：1936年12月1日 -6.柳川正男　 中佐：1937年12月1日 -7.戸村清　　 少佐：1938年8月1日 -8.折田常雄　 少佐：1939年10月15日 -9.工藤俊作　 少佐：1940年11月1日 -10.前田実穂 少佐：1942年8月27日 -11.生永邦雄 少佐：1943年10月25日 - |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第６駆逐隊 | 司令 | 前職 | 後職 | 最終職 | 兼職 |
| 昭和７年11月15日 | 河瀬　四郎 | 第３駆逐隊司令 | 艦政本部員 | 第２南遣艦隊司令長官 |  |
| 昭和９年11月１日 | 小林　徹理 | [第１駆逐隊司令](http://www.geocities.jp/boat_sparrowhawk/dg01.htm) | 最上艦長 | 第31特別根拠地隊司令官 |  |
| 昭和10年11月21日 | 広瀬　末人 | 第29駆逐隊司令 | 夕張艦長 | 第９特別根拠地隊司令官 |  |
| 昭和11年12月１日 | 高橋　一松 | 第26駆逐隊司令 | 第23駆逐隊司令 | 第２海上護衛隊司令官 |  |
| 昭和12年７月１日 | 柴田　　力 | 第４駆逐隊司令 | 第３掃海隊司令 | あけぼの丸監督官 | ４dg司令 |
| 昭和12年11月15日 | 伏見宮博義 | 第３駆逐隊司令 | 海軍大学校教官 | 海軍大学校教官 |  |
| 昭和13年４月20日 | 江戸兵太郎 | 第29駆逐隊司令 | [長良艦長](http://www.geocities.jp/boat_sparrowhawk/nagara.htm) | 第31戦隊司令官 | ５dg司令45dg司令 |
| 昭和13年12月15日 | 新美　和貴 | 第10駆逐隊司令 | 第９駆逐隊司令 | 洲埼艦長 |  |
| 昭和14年11月15日 | 成田　忠良 | 第12駆逐隊司令 |  |  |  |
| 昭和15年３月２日 | 阪　　匡身 | 横須賀鎮守府幕僚 | 夕張艦長 | 扶桑艦長 |  |
| 昭和15年11月１日 | 成田　茂一 | 第１掃海隊司令 | 大井艦長 | 大井艦長 |  |
| 昭和17年４月６日 | 山田　勇助 | 第23駆逐隊司令 | 11月13日戦死 | 第６駆逐隊司令 |  |
| 昭和17年12月28日 | 高橋亀四郎 | 初風艦長 | 第４駆逐隊司令 | 第４駆逐隊司令 |  |
| 昭和19年２月15日 | 戸村　　清 | 摩耶副長 |  |  |  |